

年 組 名前：

協力隊員の拠点 オープン

丹波山 住民、観光客 交流の場に



地域おこし協力隊員の活動拠点としてオープンした「鴨沢文岳館」＝丹波山村

丹波山村地域おこし協力隊員の活動拠点となる「鴨沢文岳館」が11日、村東部の鴨沢地区にオープンした。隊員の山本菜々子さん(26)らが、住民とともに地区の空き店舗の活用方法を検討し、活動拠点とすることを決めた。「住民が気軽に立ち寄ることができる、隊員や観光客と交流できる場所になればいい」と話している。

鴨沢文岳館は、かつて材木 土地が村に寄付されたとい店として使われていた、国道411号沿いの延べ床面積約40平方メートルの平屋の空き店舗を改装した。約50年間使用されておらず、5年前には建物とる。屋上はテラスとして整備

物販スペースやキッチンをして、隊員らが活動の一環として食品や物品などを販売する。屋上はテラスとして整備

し、住民や雲取山への登山客の休憩場所としても活用できるようにした。隊員や隊員をサポートする団体が平日を中心に運営していく。

オープンの中心となった山本さんは福島市出身で、今年6月から隊員として活動を始めた。芝浦工大在学中の2年前、アルバイト先の東京都内の設計事務所に、村内の不動産会社から空き家を改修する際に必要となる図面の作成依頼があったことがきっかけとなり初めて村を訪れたという。

村のことを知る中で、自らが役立てることがあると考え、昨年8月から住民とともに空き店舗の活用方法について検討を始めた。地域の歴史や課題を話し合うワークショップも開催。「住民や協力隊員、観光客が交流できる場

〈武田寛明〉

(2025 年 8 月 13 日付 山梨日日新聞 19 面)

問1

「鴨沢文岳館」は、どのような店舗を改装して、できあがりしましたか。

問2

福島市出身の山本さんは、なにがきっかけで丹波山村と関係を持ちましたか。

問3

丹波山村地域おこし協力隊員は、「鴨沢文岳館」をどのようにしたいと話していますか。
